

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

本牧原地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

- (1) 28年度に策定された第3期地域福祉保健計画を地域の皆様と協働して推進していきました。
- (2) 第4地区南部については、「本牧4南元気なまち運営委員会」のハロウィンパレード、昔遊びの会、うんちく散歩等、さまざまな活動に参加し、地域のネットワークづくりや地域の活性化に協力しました。
- (3) 新本牧地区については、「新本牧はあいさつでまちづくり～広げよう！つなげよう！「人のわ」～」の具体的な取組の中、あいさつ運動に参加しました。また、元気づくりスポーツイベントにも協力しました。
- (4) 本牧根岸地区（本牧元町の一部、錦町を担当）についても、「元気な本牧根岸まちづくりの会」の活動に参加しました。本牧和田地域ケアプラザとも連携し、地域課題の解決に取り組みました。
- (3) エリア内には高齢化率が30%を超える地域もあり、介護予防事業や認知症、権利擁護等に関する普及啓発に取り組みました。6職種（所長・地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援）と情報交換の場を定期的開催しエリア内課題解決に取り組みました。また、居宅介護支援、通所介護事業を含めた地域ケアプラザ全体での事業間協働の重要性を再認識し、地域ニーズの的確な把握とともに、課題解決に向けてのエリアマネジメント力の向上を図りました。
- (4) 担当エリアの分析をすすめ、地域の課題解決に向けて、行政・区社協をはじめとした関係機関との協力体制も強化しました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- (1) 地域の身近な相談窓口として、福祉保健にかかる高齢者、子ども、障害者の個別相談を受けるとともに、区役所、区社協、障がい者施設などと連携し、適切なサービスが速やかに提供できるよう努めました。
- (2) 所長、包括職員、コーディネーター（地域活動交流・生活支援）が分担し民児協、元気なまち運営委員会・元気づくり推進協議会等に参加し地域の課題を捉え、地域と連携し課題解決が出来るように努めました。
また近隣の医療機関や介護保険サービス事業所その他さまざまな関連機関と連携を図り、ネットワーク作りができるよう努めました。
- (3) 第3期地域福祉保健計画の推進や、地域のイベント（ひとり暮らし食事会や連合町内会事業サロン等）へ参加し、地域ケアプラザの周知と新たな対象の把握を行いました。お楽しみ食事会・みどり会・元気なまち運営委員会・元気づくり推進協議会に参加しました。
- (4) 担当エリアの地域の特性は勿論、新しく出来る施設や地域の変化、情報も常に

収集して相談業務に役立てると共に、地域に発信していき地域の方々と今後の課題を見据えていくことに取り組みました。

(3) 各事業の連携

- (1) 地域包括支援センターの3職種の専門性を、コーディネーター（地域交流・生活支援）と日常的・定期的に情報、意見交換を行い、地域の情報交換と情報共有を行い、地域のネットワーク強化に努めました。
第3期地域福祉保健計画の推進には所長と5職種全てが関わりました。
- (2) 地域ニーズを把握し、課題解決へ向けた事業の共催、協働に努めました。また、地域の個別課題は、生活支援コーディネーターを加えた5職種が共通認識を持って取り組みました。6職種会議（所長・包括・地域活動交流・生活支援）を月1回開催し、情報共有・目的の明確化を図りました。また担当エリア内の地域の行事にも、地域交流・生活支援・地域包括の職員で分担して参加しました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- (1) 地域ケアプラザで実施する事業に必要な専門性を持った職員を配置し、それぞれが連携を密にして、地域ケアプラザを利用される方の相談に応じました。包括の社会福祉士が異動により4月から5月末日まで欠員でしたが6月から補充できました。地域活動交流コーディネーターが親の介護の為7月、8月の2か月間介護休業を取りその間不在でしたが他の職員で地域に迷惑をかけることなく補いました。
- (2) 多様な課題を抱える相談にも応じることができるよう、職種別の専門分野に関する知識だけでなく、担当エリアの地域情報収集に努めました。
- (3) 職員各人の担当業務や経験年数に応じた目標を設定し、必要な研修を受講させました。
- (4) 法人本部において職種毎（看護師・主任介護支援専門員・社会福祉士・地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーター）の担当者会議や研修も行っており、横の連携とスキルアップに努めました。
- (5) 組織内外で実施される研修に参加する機会を多く確保し、知識や技術の向上を図るよう促しました。研修参加者より報告を行い、職場内で伝達研修を行い、研修内容を共有しました。
- (6) 利用者・事業者を問わず、公正・中立性を確保しました。包括からケアマネジャーへの依頼は、「居宅介護支援事業所 新規依頼表」を作成し、選定ツール、選定理由等を記入し、公正・中立を図りました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- (1) 協力医とケアマネジャー、民生委員とケアマネジャーとの交流を図るための会合や合同勉強会を設けたり、連合町内会、地区社会福祉協議会との懇談会などに参加したりする中で、ネットワークの構築を図りました。
- (2) 子育て支援事業では、チラシを見直し3ヶ月の日程を掲載した効果があり参加者が増えました。今後は主任児童委員と連携してさらに事業の周知に努めていきます。
- (3) 障がい児者支援事業では中学生を対象に余暇支援事業を行いました。全員が3年生でしたが来年はボランティアとして参加してくれるとのことでした。また、ポレポレグッズはお祭りで代行販売を行いました。
来年度は他の事業所との関わりを増やすとともにお祭りにおいて地域の方と直接関わる機会を作っていきます。
- (4) 近隣の施設との共催事業やスポーツイベントを通して地域住民との関わりをもつことができました。
- (5) ポレポレ祭りや昔遊び、ハロウィンパレード、みそ造り、など地域のイベントに6職種で参加し、地域との交流を深めることができました。
今後は参加するだけでなく話し合いから参加し、イベントが一層盛り上がるよう努めていきます。
- (6) 第3期地域福祉保健計画地区別計画の推進にあたり、地域住民の方をはじめ、各関係機関と情報交換を行い地域の課題を共有し課題解決に努めました。
- (7) 第4地区南部の「本牧4南元気なまち運営委員会」、新本牧地区の「元気づくり推進協議会」の会議に出席し、いかにして地域住民をとりこんでいくかを話し合いました。

(6) 区行政との協働

- (1) 第3期地域福祉保健計画について、策定主体である区・区社協と役割分担や下打ち合わせを含め地域が主体となって取り組んでいかれるよう協働しました。
(第四地区南部地区では元気なまちづくり運営推進協議会の福祉保健部門で展開され、商店街や地域の担い手の方々と認知症にやさしい町づくりの取り組み新本牧地区では健康の日イベント開催を通して世代間交流と地域の顔の見える関係づくり)
- (2) 包括だけでなく、地域交流・生活支援コーディネーターと協力して区内全域を対象とした区事業等に積極的に参加しました。
- (3) 区や他の包括支援センターと協議し、包括的・継続的なケアマネジメント支援計画を策定し、実施しました。
- (4) 毎月の地域包括支援センターカンファレンス・地域支援チーム会議に出席し課題解決に取り組みました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- (1) 新事業としてシニアリトミック、料理教室、ほんもっくん広場を開催しました。
料理教室では近隣の高校生がボランティアとして参加し、関係作りができました。シニアリトミックは参加者が減少傾向だが満足度が高く継続としました。
- (2) それぞれの事業計画において明確な目標を設定し、事業終了後には各事業の見直しを行いました。
- (3) 折り紙教室では5名のボランティアをリーダーとし、グループをまとめてもらいました。また事業年数の長い太極拳、もう一度 English は自主化に向けて

H30 年度より後方支援を行います。

- (4) ほんもっくん広場をきっかけに放課後の子ども達の出入りが多くなり、地域のイベントにも参加してくれるようになりました。ボランティアへの気遣いもできるようになり少しずつ信頼関係もできてきました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- (1) 年度初めに貸館説明会を2日にわたって行い30団体37名が出席しました。登録団体が公平に気持ちよく利用できるよう改めてルールの徹底をはかりました。
- (2) 団体の活動が個々の特色を活かせる活動支援を行いました。また、団体同士のネットワークが広がるよう各代表より団体のPRをしてもらいました。
- (3) 福祉保健活動団体の活動の場として新たに4団体が登録をしました。今後はボランティアとしてお祭りや地域での活躍の場を提供していきます。
- (4) 自主事業、貸館団体275名にアンケートを実施しました。いただいたアンケートをもとに改善策を考え要望に添えるよう努めました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- (1) 「ボランティア交流会」を実施しました。個人、団体合わせて38名が参加し、ボランティアをしたきっかけやボランティア活動に対する思いを発表してくれました。また、交流会をきっかけにボランティア同士の横の繋がりができました。
- (2) 区社協発行の「LET'Sボラ」や、地域活動の情報を館内に掲示するとともに、隔月で発行している広報誌「はらっぱ通信」にてデイサービスや自主事業などのボランティアの募集や活動中のボランティアを随時掲載し、活動内容を紹介しました。また、貸館団体の福祉保健活動についてはそれぞれの団体に合った場を提供することができました。
- (3) ヨコハマいきいきポイント対象施設として、ボランティア活動を支援しました。
- (4) レコードカフェの参加者が定着し、参加者の中からボランティアとして運営側にまわっていただくことになりました。
- (5) 小学生の福祉体験学習の支援を行い、デイサービスの訪問やケアプラザ祭りでのボランティアへと繋げることができました。
- (6) 包括や社協からの紹介で、ボランティア希望のお客様には具体的な説明をし、活動を通して生きがいを持っていただけるよう支援を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- (1) 地域で開催されている各種サロンや昼食会、バス旅行などを通して参加者の困りごとや生きがいなどの情報を収集することができました。
- (2) 隔月で発行する広報誌「はらっぱ通信」の内容の充実を図り、地域ケアプラザや地域の情報発信のため、地域に約3000枚配付し、地域の掲示板や、回覧板にて周知しました。また来所されたお客様にも積極的に声をかけ広報誌を配布しました。
- (3) 事業ごとに詳しいチラシを作成し、地域ケアプラザの受付カウンターや掲示板にて広報しました。お祭りのチラシについては近隣の施設にも掲示の依頼をしました。
- (4) 地域ケアプラザの来館者に積極的に声掛けをし、必要に応じてそれぞれの方に

適した事業や活動を紹介しました。特に新しい事業については、より多くの方に参加していただくために事業開始時などに参加を呼びかけました。

- (5) 引っ越してきたばかりのご夫婦に対し、地域交流より自主事業の紹介、生活支援よりあいさつ運動の参加を促しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- (1) 5職種それぞれの視点で地域アセスメントを行い、地域ケアプラザとしての地域支援の方向性や目標を設定すると同時に定期的に5職種会議を開催し、日頃から情報共有を行い、課題解決に向け話し合いを重ねました。
- (2) 地域支援チーム会議などを活用し、区役所・区社協・地域ケアプラザそれぞれの専門職が把握している情報を共有し、それぞれの視点で意見交換を行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- (1) 本牧和田地域ケアプラザと協働で本牧エリアの地域活動・サービスリストを作成し、民生委員や区民利用施設、ケアマネージャーなどに配布しました。
- (2) 今ある地域活動が継続していけるよう支援するとともに、地域に必要な生活支援・介護予防の取組へと発展するよう働きかけを行いました。
- (3) 地域活動に積極的に参加し、情報交換や新たなニーズ把握に努めました。今後の取り組みに活かせるよう情報を整理しました。

(3) 連携・協議の場

- (1) 「本牧4南元気なまち運営委員会」や「新本牧地区元気づくり推進協議会」などに参加し、地域の抱えている課題や目標などを共有しました。緑ヶ丘地区で取り組む医療機関・福祉施設に関するマップづくりをはじめ、4南地区におけるサロン開設に向けての話し合いに参加するなど取り組んでいます。また「認知症サポーター養成講座」を包括とともに実施しました。
- (2) 本牧山頂公園で夏に開催された「ライトアッププロジェクト」では、地域の3地区元気づくり協議会（第4南部・新本牧・本牧根岸）や地域の施設、活動団体とともに参加、新たな繋がり作りに協力支援しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- (1) 毎月開催される連絡会の場での情報交換や意見交換等を通じ、把握している地域課題について新たな発見や気づきを得る場として活用しました。
- (2) 区域の地域ケア会議において「中区の高齢者世帯（要介護者認定者を除く）の家事支援のニーズと実態」について協議し、「中区で使える生活支援サービス」が整備されました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- (1) 町内会、自治会、役員民児協、町内会、各種ボランティアグループ等と連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせるネットワーク作り形成に努めました。ネットワーク構築により多方面からの情報収集を行い、今まで把握しきれなかった個別ケースの相談援助を行いました。
- (2) 地域ケア会議を開催しました。(個別レベル1回、包括レベル2回) 元気なまち運営委員会・元気づくり推進協議会に参加し、多方面からの情報収集と連携を図り課題解決に取り組みました。

② 実態把握

- (1) 地域の特徴を知るために、町ごとの相談・訪問件数の分析を行い、地域特性を探りました。
- (2) 第4南部の「元気なまち運営委員会」・新本牧の「元気づくり推進協議会」・民児協・連合町内会・大規模店舗(イオン)などとの連携を強めて、地域としての課題の把握と共有に努めました。近隣商店街と連携して、商店街の店舗での小規模な認知症サポーター養成講座を2月に開催しました。
- (3) 地域支援チーム会議や地域包括支援センターカンファレンスで、関係機関と情報共有を図り、担当エリアの地域分析に努めました。

③ 総合相談支援

- (1) 地域の身近な相談窓口として、福祉保健にかかる個別相談を受けるとともに、各種関係機関と連携して、常に適切な、速やかなサービスが提供できる体制を維持しました。
- (2) 地域包括支援センターの3職種が、それぞれの専門性を活かしながら連携し、障害・医療・金銭問題等の多様化している相談に対しても、チームアプローチを心がけ、迅速に、適切に対応しました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- (1) 「成年後見サポートネットワーク」の全体会・分科会に積極的に参加し、市民後見人との連携に努めました。
- (2) 個別的相談でも、多様な専門職者と連携し、課題の速やかな解決に取り組みました。(法テラス、弁護士・司法書士等)
- (3) 司法書士による「相続遺言講座」、葬儀社を講師として「葬儀やお墓の選び方」講座を地域に向けて開催し、終活に関する啓発活動を行いました。
- (4) 介護保険事業所や地域関係者と密に連絡を取り、日頃から高齢者に働きかけ、消費者被害を未然に防ぐよう努めました。

② 高齢者虐待への対応

- (1) 高齢者虐待防止事業指針に基づき、民生委員、町内会、介護保険サービス事業者、医療機関、行政機関と連携し、虐待の早期発見、防止に努めました。
- (2) 区役所で開催されたネットワークミーティングに参加し、関係者間での情報共有を行いました。関係者への支援を通じて、家族支援を行いました。
- (3) ケアマネジャーと常に連携し、虐待になる前の段階で気づき、その段階で関わるよう努めました。

③ 認知症

- (1) 地域のお店を借り認知症サポーター養成講座を開催しました。今後もお店を利用させていただき、そのお店には認知症サポーター企業となってもらいました。
- (2) グリーンリーフ地域勉強会の認知サロンは毎月開催する事が周知され、介護者の方の憩いの場となりました。参加する事で、介護の負担が軽減できるよう介護の情報の発信をしました。エリア外からの参加者もあり、区で開催されている介護者の集いに繋ぐことが出来ました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- (1) 包括エリアの民生委員との顔の見える関係づくりを行う為、日常的に介護支援専門員やサービス提供事業所との橋渡しを行いました。
- (2) 民生委員と介護支援専門員との交流勉強会は、民生委員さんから提案された、「在宅の限界」をテーマに行いました。勉強会の中から、傾聴ボランティアの必要性を知り、30年度に傾聴ボランティアの育成事業を開催する事になりました。
- (3) 地域住民と地域の諸団体（連合町内会、民生委員、地区社協等）関係機関（区、区社協等）の連携が推進される提案を、情報の提供を行いました。
- (4) グリーンリーフ地域勉強会の中で、地域住民向けに「わくわく老後・らくらく介護・相続」と題し自分と家族を守る相続、遺言、後見の勉強会を開催しました。
- (5) はらっぱ祭りのなかで、「生き生き健康診断」とし、握力から体の筋肉量を知り、寝たきりにならない予防対策の情報提供をしました。

② 医療・介護の連携推進支援

- (1) 当施設の協力医や、地域の歯科医、薬剤師などの医療専門職を講師に招いて、グリーンリーフ地域勉強会を開催しました。開催10年を迎え介護支援専門員と医療機関との連携が深まっています。
- (2) 所内において、課題を抱えているケースの同行訪問を行い、一緒に対応し連携を強固にしました。
- (3) 個別ケースの相談を通して、総合病院の医療連携室や地域の開業医、在宅医療連携室と連携をとりました。

③ ケアマネジャー支援

- (1) 包括エリアで活動する介護支援専門員のスキルアップや、地域ネットワーク構築支援の為、グリーンリーフ勉強会で、地域の医療機関と連携を取り勉強会を開催し、ケアマネジャー支援を行いました。
- (2) 「かigoのWa!なか」ケアマネ部会に対し、区内で活動している介護支援専門員全体のスキルを上げる研修の企画協力を行い、介護支援専門員の自主的な活動の相談支援を行いました。
- (3) 中区内包括支援センター主任ケアマネジャーで共催し、月1回ケアマネサロンを開催しました。地域資源作りの為、現在の社会資源を地図に書き込む作業等をしたことで、情報共有、連携が図れました。
- (4) 地域ケア会議を開催し、地域の課題、個別の課題の周知、解決に努めました。個別課題の会議では、各専門機関、地域の関係者が多数集まり有意義な会議が開催できました。
- (5) 支援困難事例の相談に対応し、個別地域ケア会議を行いました。かかわりのある管轄の警察、区役所、社会福祉協議会、みはらしポンテの職員、横浜リハビリテーションの職員と支援が困難になっている原因の情報共有ができ、今後の見守り体制の方針を決めることができました。
- (6) 中区内地域包括主任ケアマネジャーが主催し、中区内の新任介護支援専門員に対し、ケアマネジメントプロセス、制度説明等の研修を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- (1) 個別ケースカンファレンスや、地域ケア会議を開催し、多職種との連携を図り課題解決に取り組みました。高齢者の住み替えを考えるテーマでは、新たな職種との連携を図りました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- (1) 要支援者・介護予防ケアマネジメント対象者どちらも対象者が日常生活の中で出来ることを実感するような具体的な目標プランを対象者と一緒に考え設定し、本人がまだ出来ている事を実感できる自立支援を軸にしたケアプランの作成をしました。
- (2) 予防プランを外部に委託する場合は、担当者会議に参加し、担当ケアマネジャーと連携しながら適切なケアプラン作成を支援し、利用者本人や家族にもサービスが適正に利用できるようにしました。また利用者本人の状況をふまえ事業対象者になれる方には直営、委託も含め積極的に促し移行していきました。
- (3) 介護予防・日常生活総合事業をふまえ予防プランを委託している事業者に対してインフォーマルサービス等をケアプランに活用できるよう紹介、プランの充実と介護保険サービス外の社会資源の活用を促していきました。区内の包括保健師職、主任介護支援専門員と協働して新人介護支援専門員研修、介護予防従事者研修を開催いたしました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- (1) 介護予防教室にて高齢者が一人ででも自宅で取り組める運動、体操を講師と共に伝えました。また、高齢者に必要な栄養や口腔機能、認知症予防等の知識、季節ごとの生活の注意等を事業や地域の老人会、食事会等に出向き喚起しました。体力向上プログラムを1回/月、12回コースをケアプラザにて開催。ロコモ予防認知症予防を毎回、口腔機能向上、栄養講座も期間をあけて複数回実施しました。(地域の高齢者集合住宅相談室では1回/月 6月から10回コース)
- (2) 5か所の元気づくりステーションの担い手の方と相談をしながら引き続き地域の方が継続していかれるよう内容の充実の為に支援を続けていきました。5か所それぞれ回数も内容も違うので区保健師と連携しながら担い手の方が負担にならないよう楽しみながら続けていかれるよう支援していきました。
- (3) 地域に新しく集いの場自体が出来るよう、また地域の担い手の方等が集いの場で介護予防認知症予防の知識を活用できるよう集合住宅の相談室にて(ルミエール本牧にて6月より1回/月10回コース)介護予防認知症講座を実施しました。次年度に向けて集いの場としての自主化はまだ難しいですが、定期的に参加する方が固定化されてきているので次年度も引き続き支援していきます。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- 1) 地域ケアプラザは地域の様々な方が利用される施設ですが開所後17年目となり、施設の維持管理にかかる費用も増加してきています。事故防止や設備の不具合等がないように、空調設備、消防設備、エレベーター、自動ドア、機械整備、冷暖房機器等の保守、点検を定期的に行うとともに、中長期的な修繕計画の策定を検討しました。
- (2) 管理、保守を委託している業者との契約については、毎年更新時に内容を検討し、日々の連絡も密に行いました。
- (3) 日常清掃や消耗品の補充などといった各箇所の日常の管理を通して、利用される皆様が安全に、気持ちよくご利用いただけるように努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

- (1) 地域ケアプラザの業務は多岐にわたっていますが、それぞれの業務について全職員が常に優先順位を意識し、時間外勤務においても適正な執行に努めました。
- (2) 労務、経理等の事務処理に関しては、法人本部による一括処理など、業務や役割を分担しながら事務の効率化に努めました。
- (3) 建物管理、保守、送迎車両のリース等委託業者の選定にあたっては電子入札を実施するなどして経費節減に努め、節電、省エネにも積極的に取り組みました。

(3) 苦情受付体制について

- (1) 法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めました。
- (2) 法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みをしています。
- (3) 館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。
- (4) 事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげました。その際、地域の方にわかるようフリースペースに掲示しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (1) 法人では、東日本大震災を踏まえ防災マニュアルの見直しをはじめとしたプロジェクトを発足させ、地域ケアプラザ毎のサービス提供継続計画（BCP）を策定しています。当地域ケアプラザにおいても、地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画等を策定しており、中消防署を講師に迎えた年2回の防災訓練では、通常の避難訓練に加えた心肺蘇生・AED訓練などを実施し、緊急時に職員が適切な対応が取れるよう災害時に備えました。
- (2) デイルームが2階の為、現在使われていない避難用スロープを利用できるように検討していましたが、今年度は利用しての防災訓練は出来ませんでした。
- (3) 横浜市から特別避難場所としての指定を受けており、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として受け入れます。ま

た、備蓄物資を管理するとともに、行政との連携を図りました。
(4) 防犯については、夜間機械警備等を行い、安全に努めました。

(5) 事故防止への取組について

- (1) 介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めます。
- (2) 所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めます。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- (1) 地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護研修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。

(7) 情報公開への取組について

- (1) 横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、法人で「情報公開規程」を定めています。情報開示の請求があった場合には、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めます。
- (2) 広報誌（はらっぱ通信・デイ便り）やホームページ等を活用して、各種事業に関する情報を幅広く市民の方へ提供できるようにします。

(8) 人権啓発への取組について

- (1) 法人で、年1回全職員向けに「人権研修」を行い、受講できなかった職員には地域ケアプラザ内で伝達研修を行います。
- (2) 全職員に対し、年1回の個人情報保護研修と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- (1) 良好な環境維持のために省エネルギー対策、ごみの減量化に努めます。節電、節水をこまめに行い（雨水タンクの活用）、コピー用紙の裏面使用や封筒の再利用を行うとともに、資源ごみの分別収集を徹底します。
- (2) 地域ケアプラザの樹木の管理については、専門業者に委託しています。また、「花やぐまち事業」などによる植栽で、環境保全や環境美化にも配慮します。
- (3) 地域ケアプラザの樹木以外の季節の花々の手入れを地域のボランティアが行うことにより、季節感を感じることができるようになっています。
- (4) 夏場に予測される電力事情の課題にも、行政機関等と連携を密にして情報の収集を図り、節電等に取り組みます。
- (5) 建築物環境衛生管理、空気環境測定、簡易水質検査、害虫駆除等を定期的に行います。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

地域包括支援センター職員・・・保健師担当看護師
主任介護支援専門員
社会福祉士（平成29年6月より） 各1名
非常勤従事者・・・・・・・・・・予防プランナー 1名

《目標に対する成果等》

- (1) 要支援者・介護予防ケアマネジメント対象者どちらも対象者が日常生活の中で出来ることを実感するような具体的な目標プランを対象者と一緒に考え設定し、本人がまだ出来ている事を実感できる自立支援を軸にしたケアプランの作成をしました。
- (2) 予防プランを外部に委託する場合は、担当者会議に参加し、担当ケアマネジャーと連携しながら適切なケアプラン作成を支援し、利用者本人や家族にもサービスが適正に利用できるようにしました。また利用者本人の状況をふまえ事業対象者になれる方には直営、委託も含め積極的に促し移行していきました。
- (3) 介護予防・日常生活総合事業をふまえ予防プランを委託している事業者に対してインフォーマルサービス等をケアプランに活用できるよう紹介、プランの充実と介護保険サービス外の社会資源の活用を促していきました。区内の包括保健師職、主任介護支援専門員と協働して新人介護支援専門員研修、介護予防従事者研修を開催いたしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1) 介護予防のための事業を一般高齢者とともに要支援高齢者、介護予防ケアマネジメント対象者も一緒に参加できる内容(ロコモ予防、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等)開催、委託先の介護支援専門員にもインフォーマルサービスとして活用できるよう働きかけ高齢者の外出や運動の機会や生活習慣を見直すきっかけとして活用してもらった。
- (2) 委託先の介護支援専門員にも事業対象者についての理解が進み介護保険更新認定せずに事業対象者に移行した方も多く、変わらずサービスを継続できた。また、必要に応じ介護保険申請認定に切り替えることも滞りなくできている。

《利用者実績》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
124	120	123	127	126	130
10月	11月	12月	1月	2月	3月
125	124	121	126	127	126

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

●居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤専従	3名
常勤兼務	2名
非常勤専従	1名

《目標》

○自立支援、認知症支援、医療連携○

- (1) 在宅生活されているご本人とご家族の意向を尊重して、ケアプランを作成しました。
- (2) ご本人の生活歴を踏まえ、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように介護保険以外の地域事業（インフォーマルサービス）の情報提供もできるようにしました。
- (3) 退院後も在宅生活が安心して送れるように主治医、関係機関等と連携を図り、随時プランの見直しをしていきました。
- (4) 認知症になっても地域の見守りや理解により、在宅生活が継続できるように日頃から主治医、民生委員、近隣の方々で行う情報交換、勉強会、研修会に参加して自己研鑽に努めるとともに地域とのネットワークづくりを推進しました。
- (5) 地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所であるメリットを活かして、所内の他部門との連携を図り、多問題ケース等を積極的に受託しました。
- (6) 介護保険制度における制度の説明や具体的なサービスの利用等について、お客様への丁寧な説明を心掛けました。

《実費負担》

- (1) 通常のサービス提供区域を越える地域の訪問・出張する必要がある場合には公共交通機関の場合、公共交通機関の運賃分の実費をいただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1) 法人内の会議や研修、「かいごの Wa! なか」を通して介護保険改正に関する情報の収集やスキルアップに努めました。
- (2) 特定事業所として質の高い支援を行うため主任ケアマネジャーを配置し、お客様の相談に随時対応できるよう24時間相談体制とします。また、今年度も介護支援専門員の実習生を受け入れました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
158	160	164	165	169	169
10月	11月	12月	1月	2月	3月
164	167	163	163	168	171

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 要介護1～5の認定を受けられた方を対象に、自立した日常生活を営むことを目的として、お客様、ご家族のご希望を踏まえ、ケアマネジャー等と支援内容を検討しながら入浴、食事等のサービスを提供しました。
- ストレッチを含む機能訓練、曜日レクリエーション、戸外訓練を実施いたしました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | |
|---|--------|--------|
| ● 負担割合 | (1割負担) | (2割負担) |
| ● (要介護1) | 692円 | 1,383円 |
| ● (要介護2) | 817円 | 1,634円 |
| ● (要介護3) | 947円 | 1,893円 |
| ● (要介護4) | 1,077円 | 2,153円 |
| ● (要介護5) | 1,206円 | 2,412円 |
| ● 食費負担 | 650円 | |
| ● サービス提供体制強化加算Ⅱ | 7円 | 13円 |
| ● 入浴加算 | 54円 | 108円 |
| ● 中重度者ケア体制加算 | 49円 | 97円 |
| ● ※介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の40に相当する単位数の料金が加算されます。 | | |

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ28名、運転手8名、看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名

《目標》

今年度は、季節の行事、曜日レクリエーション、個別のニーズに合わせた機能訓練、戸外訓練を充実させ、お客様の意欲の向上と残存機能の維持向上につながるよう取り組みました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

編み物、絵手紙、麻雀等、お客様の要望にお応えし、曜日レクリエーションに反映しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
873	908	880	899	887	872
10月	11月	12月	1月	2月	3月
884	823	778	749	763	905

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 要支援1・2の認定を受けられた方を対象に、自立した日常生活を営むことを目的として、ご本人、ご家族の希望を踏まえ、ケアマネジャー等と支援内容を検討しながら入浴、食事等のサービスを提供しました。
- 運動器機能向上訓練、曜日レクリエーション、戸外訓練を実施致します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | |
|----------------------|--------|--------|
| ● 1割負担分 | (1割負担) | (2割負担) |
| ● (要支援1) | 1,766円 | 3,531円 |
| ● (要支援2) | 3,621円 | 7,241円 |
| ● 食費負担 | 650円 | |
| ● サービス提供体制強化加算Ⅱ 要支援1 | 26円 | 52円 |
| ● 要支援2 | 52円 | 103円 |
| ● 運動器機能向上加算 | 242円 | 483円 |
- ※介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の40に相当する単位数の料金が加算されます。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

管理者1名、生活相談員4名、介護職員2名、デイスタッフ30名、運転手7名、看護職員兼機能訓練指導員6名、調理員6名

《目標》

今年度は、運動器機能向上訓練やお客様の生活環境に即した訓練等、個別性の高いプログラムを充実させました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

編み物、麻雀等、お客様の要望にお応えし曜日レクリエーションに反映しています。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
14	16	19	16	15	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	16	16	14	14	16

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動・食事・体操・入浴等の介助、見守り）
- 健康状態の確認 送迎 食事 体操 レクリエーション 機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 負担割合	（1割負担）	（2割負担）
（要介護1）	1, 072円	2, 144円
（要介護2）	1, 188円	2, 376円
（要介護3）	1, 305円	2, 609円
（要介護4）	1, 422円	2, 844円
（要介護5）	1, 539円	3, 077円
● 食費負担	650円	
● サービス提供体制強化加算Ⅱ	7円	13円
● 入浴加算	55円	109円

※介護職員処遇改善加算として利用単位数の1000分の68に相当する単位数の料金が加算されます。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ28名、運転手9名、看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名

《目標》

- ・安心して穏やかに過ごせる環境を作り、お客様に寄り添ったサービスを提供しました。
- ・心地よい疲れで帰宅する事で、ご自宅で穏やかに過ごせるよう支援しました。
- ・在宅生活を継続する為ご家族様には家族会を開き、ご自宅での介護の様子を話し合うと同時に、「認知症の方へのかかわり方」の大切さを伝える機会を作りました。
- ・職員には、介護のプロとしてご家族の不安を取り除ける知識と技術を身に着ける勉強会、研修会、事例検討会を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

お客様の想いや状況を把握し、一人ひとりのお客様が安心して穏やかに過ごせる環境を整えることで、ご自宅での生活を続けられるよう適切な支援方法を検討し、実施しています。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
239	250	267	268	251	240
10月	11月	12月	1月	2月	3月
226	217	217	202	226	245

平成29年度「本牧原地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,575,000	588,610	17,163,610	17,163,610	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	487,610	487,610	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	117,680	117,680	
印刷代	0		0	97,680	97,680	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	20,000	20,000	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	3,727,161		3,727,161	3,727,161	0	
収入合計	24,292,161	588,610	24,880,771	25,486,061	605,290	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	11,085,828	899,599	
本俸	8,115,136		8,115,136	7,666,326	448,810	
社会保険料	973,111		973,111	932,319	40,792	
手当計	2,615,493		2,615,493	2,258,793	356,700	
健康診断費	82,248		82,248	44,321	37,927	
勤労者福祉共済掛金	8,256		8,256	0	8,256	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	191,183		191,183	172,438	18,745	
その他	0		0	11,631	11,631	
事務費	1,083,000	0	1,083,000	1,870,943	787,943	
旅費	14,425		14,425	5,629	8,796	
消耗品費	119,741		119,741	157,916	38,175	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	98,805		98,805	97,082	1,723	
通信費	263,189		263,189	228,553	34,636	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	386,434		386,434	459,464	73,030	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	23,081		23,081	15,346	7,735	
職員等研修費	5,485		5,485	10,374	4,889	
振込手数料	16,144		16,144	13,569	2,575	
リース料	66,643		66,643	70,544	3,901	
手数料	21,276		21,276	21,401	125	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	67,777		67,777	791,065	723,288	
事業費	1,962,000	0	1,962,000	1,170,904	791,096	
運営協議会経費	42,000		42,000	14,113	27,887	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,920,000		1,920,000	1,156,791	763,209	
管理費	8,333,752	614,468	3,169,568	7,031,545	40,035	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	1,015,185	0	1,015,185	3,902,012	1,015,185	
電気料金	254,623		254,623		254,623	
ガス料金	231,345		231,345		231,345	内訳が一致していません
水道料金	529,217		529,217		529,217	
清掃費	281,400		281,400	1,390,555	1,109,155	
修繕費	474,000	614,468	1,088,468	1,062,610	25,858	予算：指定額
機械警備費	30,862		30,862	116,104	85,242	
設備保全費	67,991	0	67,991	320,432	252,441	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	17,642		17,642	94,675	77,033	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	50,349		50,349	225,757	175,408	
共益費	33,220		33,220	138,532	105,312	
その他	652,442		652,442	101,300	551,142	
公租公課	958,834	0	958,834	886,866	71,968	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	886,866	71,968	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	24,323,013	614,468	19,158,829	22,046,086	1,014,755	
差引	30,852	25,858	5,721,942	3,439,975	1,620,045	

自主事業費収入	1,920,000		1,920,000	0	1,920,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	1,920,000		1,920,000	1,156,791	763,209	
自主事業収支	0	0	0	1,156,791	1,156,791	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,906,000	126,000	23,780,000	23,780,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	157,421	5,631,579	5,631,579	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	3,400	3,400	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	3,469,393		3,469,393	3,469,393	0	
収入合計	33,315,393	283,421	33,031,972	33,035,372	3,400	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,476,293	0	27,476,293	25,104,407	2,371,886	
本俸	14,905,502		14,905,502	14,633,500	272,002	
社会保険料	3,616,530		3,616,530	3,267,926	348,604	
手当計	8,078,021		8,078,021	6,675,669	1,402,352	
健康診断費	73,831		73,831	43,618	30,213	
勤労者福祉共済掛金	27,756		27,756	0	27,756	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	336,323		336,323	450,563	114,240	
その他	438,330		438,330	33,131	405,199	
事務費	702,000	0	702,000	1,686,987	984,987	
旅費	13,671		13,671	4,988	8,683	
消耗品費	119,750		119,750	80,948	38,802	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	98,806		98,806	97,082	1,724	
通信費	313,329		313,329	311,186	2,143	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	9,830		9,830	15,346	5,516	
職員等研修費	1,200		1,200	15,204	14,004	
振込手数料	15,369		15,369	13,569	1,800	
リース料	74,467		74,467	70,550	3,917	
手数料	21,061		21,061	21,403	342	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	34,517		34,517	1,056,711	1,022,194	
事業費	2,930,000	0	2,930,000	796,887	2,133,113	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	1,840,000		1,840,000	16,099	1,823,901	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	152,467	1,467	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	124,321	184,679	予算:指定額
管理費	2,207,100	0	2,207,100	1,712,674	1,531,669	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,015,185	0	1,015,185	1,037,243	1,015,185	
電気料金	254,623		254,623		254,623	
ガス料金	231,345		231,345		231,345	内訳が一致していません
水道料金	529,217		529,217		529,217	
清掃費	281,400		281,400	369,640	88,240	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	30,862		30,862	30,863	1	
設備保全費	67,991	0	67,991	85,176	17,185	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	17,642		17,642	25,165	7,523	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	50,349		50,349	60,011	9,662	
共益費	33,220		33,220	36,824	3,604	
その他	652,442		652,442	26,928	625,514	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	33,315,393	0	33,315,393	29,300,955	5,051,681	
差引	0	283,421	283,421	3,734,417	5,055,081	

自主事業費収入	2,300,000			3,400		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	2,300,000			292,887		
自主事業収支	0			289,487		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:本牧原地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護
収入	介護保険収入	2745	32543	95969	6212	41280
	その他	5788	714	6524	912	2021
	介護予防ケアマネジメント 費	4593				
	事業・負担金収入	1195				
	認定調査		714			
	その他			6524	912	2021
収入合計(A)		8533	33257	102493	7124	43301
支出	人件費	565	23639	71732	10147	29936
	事務費	5409	2046	5035	712	2570
	事業費	29	82	7059	998	2993
	管理費	0	0	5889	833	1914
	その他	0	0	1142	0	113
	利用者負担軽減額			186		
	消費税					
	介護予防プラン委託料					
	その他			956		113
支出合計(B)		6003	25767	90857	12690	37526
収支 (A) - (B)		2530	7490	11636	-5566	5775

説明

行追加の場合はこの部分に追加

行追加の場合はこの部分に追加

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市本牧原地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
寿和の会 (平成15～16年度 転倒骨折予防教室卒業生の会)	継続的に会を行うことで、転倒骨折を予防するとともに、仲間作りを支援する。 体に不安がある方でもレクリエーションを楽しんでいただける場を設ける。 前半は講師による体操、後半はペタンクを行った。 最後に、お茶の時間を設け、参加者の交流を図った。	第1・3月曜日 全19回 (8月・祭日除く)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
のびのび元気体操	65歳以上の方を対象にした教室。 運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。 ストレッチを取り入れた体操を行った。 体操についていけなくなった方を地域包括支援センターに繋ぎフォローした。	第1・3水曜日 全24回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
健脳体操教室 1・2	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。 地域の方ならどなたでも参加できる体操教室。 脳に刺激を与えながら日常生活に必要な筋力を鍛える。 1日に2クラス実施した。講師はYMCAより派遣した。	第2・4木曜日 全24回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室	男性の家事の自立と仲間づくりを支援する。 地域住民との交流や新しい層へのケアプラザの周知を図る。 地域イベントでの給食ボランティアなども目指す。 また、年1回の障がい者の余暇支援での調理ボランティアやはらっぱ祭り内での調理、販売も行った。	第2日曜日 全11回 (8月除く)
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいサロン 潮風	地域の高齢者を対象にした仲間作りのサロン。 閉じこもり防止をはかるとともに、仲間作りを支援する。 事業の運営や体操の担い手ボランティアを育成する。 当初よりボランティアグループが担い手となり、毎回プログラムを変えて、落語・フラダンス・音楽会・読み聞かせなどを行った。 後半はお茶の時間を設け、参加者同士の交流を図った。	第1木曜日 全12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン	子育て中の親子が集うサロン。 親子がリフレッシュし、子育てサークルや、育児の情報交換、仲間作りなどを支援する。 隔月でボランティアグループによる読み聞かせを実施した。	第3火曜日 全12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生のお菓子作り	小学生がお菓子作りに挑戦し、招待した地域の高齢者に作ったお菓子をふるまう。 ゲームやレクリエーションを取り入れ、交流の場を提供した。 大鳥中学校コミュニティハウスと共催で実施した。	28年7月29日 29年2月5日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
太極拳教室	太極拳を通じ運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供した。 地域の方ならどなたでも参加できる。	第1・3・5 土曜日 全27回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
折り紙教室	季節に合わせた折り紙を作成する。 趣味活動や生きがい活動を通じた仲間作りを支援する。 ボランティアとして5名を抜擢し、各グループのリーダーとして周囲のサポートをしてもらった。	第3木曜日 全11回 8月除く
事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って笑って ハッピータイム	カラオケやピアノに合わせて参加者全員で歌を歌う。 外出の機会を増やし、声を出すことにより健康の増進を図った。 老若男女問わず、地域住民同士の交流を図った。	第1月曜日 全11回 8月除く
事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳イキイキ教室	65歳以上の方を対象にした教室。 読み書き計算や、定期的な外出で認知症予防を図るとともに に歓談コーナーを通して仲間作りを支援する。 サポーターとしてボランティアを育成するとともに、卒業生をボランティア活動や次の事業に繋げた。	毎週木曜日 全43回 9月・3月除く
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボラたま	障がい児に携わるボランティアの育成とともに各地域ケアプラザで行われる「夏休み余暇支援事業」のボランティア研修も兼ねた。 障がいのある子どもたちとの関わり方を学び、地域生活を支援するサポーターを増やす。 障がい児者支援・啓発ネット「わっしょい」を講師に迎え、知的障害の疑似体験を行うとともにグループワークを行い、障がい児への接し方や理解を深めた。	7月1日
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
もう一度 ENGLISH	学習の喜びを感じていただくとともに、参加者同士の交流を図る。 中学生程度の内容を、実力・経験を問わず地域の方で集い、学ぶ場を提供した。	第2・4土曜日 全22回 8月除く
事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児 余暇支援事業 ホップステップ なつやすみ	長期休暇（主に夏休み）の障がい児への余暇支援を行い、介護者のレスパイトケアを行う。 障がい児と地域の方が関わる場を提供し、地域住民の障がい理解への一助とする。 参加児童（個別支援学級在籍者）とボランティアで前半は調理実習、後半は講師を招いて吹き矢を楽しんだ。 区内ケアプラザで協力して実施し、本牧原は中学生を対象に行った。	8月13日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
はらっぱ祭り & はらっぱ文化祭	ケアプラザ内に地域の方やデイサービスの方の作品展示の場を設け、手作りの作品を飾る。 ポレポレグッズ(障がい者施設などで作成した製品)やボランティアなどが作成した作品を販売し、地域の方々に活動を紹介し理解を深めていただく。 文化祭の最終日にはお祭りを開催し、地域の団体による活動の発表や、模擬店など、地域の方の活動の場を提供した。	11月5日～12日 最終日にはらっぱ祭り
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバー 健康体操	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供した。 65歳以上の方を対象にした音楽に合わせた体操教室。	第1・3金曜日 全24回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロウィン クッキー	地域の親子にも広くケアプラザやヘルスマイトの活動を知っていただく。 ヘルスマイトの協力で、クッキーを作成し、ハロウィンの日に地域の子どもたちに無料で配布した。	10月31日

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レコードカフェ	男性の外出や仲間作りのきっかけを提供し、地域にいる新たな担い手を発掘する。 コーヒーを提供し、音楽鑑賞をしながらくつろいでいただいた。参加者の中からコーヒーをいれるボランティアを探し、デイサービスでふるまってもらう。	第1水曜日 全12回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
本牧さくら祭り	地域の行事に参加し、地域の施設や商店との関係づくりをすすめる。 地域の方に本牧原地域ケアプラザの存在を知ってもらうとともに足を運ぶきっかけを作る。 来館者に1人一杯さくら茶を提供した。	平成29年 4月1日(土)～ 4月8日(土)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
花やぐまち事業	花と緑にあふれる街づくりに協力するとともに、季節の花々をケアプラザの利用者の方々に楽しんでいただく。 園芸ボランティアグループ「コスモス」に花壇の手入れを定期的にしていただくとともに、種まきや苗の植え替えを年2回実施した。	コスモス活動 毎週木曜日 全52回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	日頃、ケアプラザで活動しているボランティアに感謝し、またボランティア同士の交流と情報交換の場を提供する。 お互いを知ってもらうために席をシャッフルしたことで、交流を深めてもらうことができた。ケアプラザからの出し物として職員も加わりグループ対抗でゲームを行った。各グループで協力することで会が一層盛り上がった。	3月25日 年1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防セミナー (介護予防普及強化業務委託 介護予防普及啓発事業)	・地域の高齢者に対して介護予防の必要性とロコモティブシンドローム予防 認知症予防 ・高齢者自身で取り組むきっかけづくり 仲間づくり 一人暮らしの見守り 相談業務で把握したかかわりが必要な方認知症の心配のある方等にも場所慣れ他人慣れ目的で参加してもらった。 ・高齢者に必要な栄養、口腔ケア等の知識と技術の習得 毎回地域の運動指導員またはシニアリズム体操講師による体操運動、認知症予防レクリエーション、リズム体操 運動の後の時間に年間2回づつ栄養士、歯科衛生士による講座を開催した。	毎月第2月曜日 全12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ルミエール体操 &介護予防セミナー (介護予防普及強化業務委託 地域介護予防活動支援事業)	高齢者同士が互いに声掛けをするきっかけ、集いの場づくりとして開催した。地域運動指導員による運動、介護予防認知症予防講座。ハマトレの習得は難しく簡単に出来る内容を抜粋して講師の来ない回は実施した。地域の集いに参加することが楽しみになり参加者の固定化ができた。自主的に近隣者に参加を促すようになった。 地域運動指導員講師による運動体操、認知症予防レクリエーション、栄養士、歯科衛生士による講座を開催した。	平成29年6月から 毎月第1金曜日 全10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
グリーンリーフ 地域勉強会	地域包括支援センターと地域の福祉サービス事業所に所属するグリーンリーフメンバーが協働し、ケアマネジャー、地域の福祉、保健、医療の勉強会や相談会を開催する事で、ケアマネジャー支援や福祉職のスキルアップを図ると共に、地域へ普及啓発を行い、地域ネットワークの構築強化と、地域ニーズに対応できる力を養う事を目的として実施した。	医療(全体・眼科、薬剤、歯科) 年3回 認知サロン 毎月第一金曜日 年12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーとの 交流勉強会	地域包括支援センターと地域のケアマネジャー、民生委員が顔の見える良好な関係を築き、地域ネットワークの構築強化と、地域ニーズに対応できる力を養う事を目的として実施した。民生委員からの、要望で「在宅の限界」をテーマとして、話し合い、本当に最後まで在宅で生活が出来るのか、その為には地域にどのような社会資源があればよいのか、話し合いをした。	年2回

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

本牧原地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
寿和の会 平成15～17年度転倒骨折 予防教室卒業生の会)	65歳以上	54,000	地活	54,000	0	0	54,000	0	0
	199名		包括						
	無料		生活						
のびのび体操	65歳以上	133,440	地活	90,720	42,720	0	120,000	0	13,440
	357名		包括						
	1回 120円		生活						
健脳体操1・2	地域の方	218,880	地活	153,480	65,400	0	192,000	0	26,880
	545名		包括						
	1回 120円		生活						
男の料理教室	地域の男性	98,060	地活	56,560	41,500	0	44,000	54,060	0
	76名		包括						
	1回 500円		生活						
ふれあいサロン潮風 (ふれあい助成金にてポ ランティアが運営)	65歳以上	2,200	地活	2,200	0	0	0	0	2,200
	175名		包括						
	1回 200円		生活						
子育てサロン	地域の未就園児と親	0	地活	0	0	0	0	0	0
	123名		包括						
	無料		生活						
小学生のお菓子作り	小学生	10,785	地活	2,285	8,500	0	6,000	4,785	0
	17名		包括						
	500円		生活						
太極拳	地域の方	140,000	地活	44,500	95,500	0	140,000	0	0
	191名		包括						
	1回 500円		生活						
折り紙教室	地域の方	4,886	地活	-4,214	9,100	0	0	4,886	0
	181名		包括						
	50円		生活						
飲って笑ってハッピータイム	地域の方	71,876	地活	13,976	57,900	0	27,000	44,876	0
	577名		包括						
	1回 100円		生活						
脳イキイキ教室 (ふれあい助成金にてポ ランティアが運営)	65歳以上	0	地活	0	0	0	0	0	0
	758名		包括						
	1か月 2500円		生活						
ボラたま	地域の方	2,500	地活	2,500	0	0	0	2,500	0
	10名		包括						
	無料		生活						
もう一度English	地域の方	28,000	地活	28,000	0	28,000	0	0	28,000
	390名		包括						
	教材1冊200円		生活						
障がい者余暇支援事業 ホップステップ夏休み	障がい児	11,003	地活	28,000	3,000	0	4,000	6,443	560
	6名		包括						
	1回 500円		生活						
はらっぱ祭り & はらっぱ文化祭	地域の方	76,903	地活	41,003	0	35,900	6,000	66,703	4,200
	約250名		包括						
	無料		生活						
シルバー体操	65歳以上	146,880	地活	70,800	76,080	0	120,000	0	26,880
	634名		包括						
	1回 120円		生活						
ハロウィンクッキー	地域の子ども	5,678	地活	0	0	0	0	5,678	0
	100名		包括						
	無料		生活						
レコードカフェ	地域の男性	23,271	地活	8,971	14,300	0	0	23,271	0
	143名		包括						
	1回 100円		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

花やぐまち事業	どなたでも	9,590	地活	9,590	0	0	0	9,590	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
なか区ブックフェスタ	どなたでも	3,000	地活	3,000	0	0	0	0	3,000
	定員なし		包括						
	無料		生活						
シニアリトミック	地域の方	39,720	地活	27,960	11,760	0	33,000	0	6,720
	98名		包括						
	1回 120円		生活						
料理教室	地域の方	21,268	地活	8,268	13,000	0	0	21,268	0
	26名		包括						
	1回 500円		生活						
ほんもっくん広場	地域の方・小学生	22,774	地活	22,774	0	0	0	2,024	20,720
	127名		包括						
	無料		生活						
ボランティア交流会	ボランティアの方	33,647	地活	33,647	0	0	0	33,647	0
	38名		包括						
	無料		生活						
食育講座	地域の方	1,400	地活	950	450	0	0	0	1,400
	19名		包括						
	1回 50円		生活						
本牧さくら祭り	地域の方	5,068	地活	5,068	0	0	0	5,068	0
	1日50名		包括						
	無料		生活						
介護予防セミナー	高齢者	106,867	地活						
	153名		包括	106,807	0	0	80,000	20,147	6,720
	無し		生活						
ルミエール体操&介護 予防セミナー	高齢者 高齢者支援者	45,600	地活						
	57名		包括	45,600	0	0	40,000	0	5,600
	無し		生活						
グリーンリーフ地域勉強会 (医療)	地域のケアマネジャー	3400	地活						
	34名		包括					3400	
	100円		生活						
グリーンリーフ地域勉強会 (認知症サロン)	認知症を介護している家族・CM	9667	地活						
	92名		包括					9667	
	無料		生活						